



台木の違いによるレモンの樹生育，品質および収量

レモンの台木にヒリュウを用いると，樹冠をコンパクトに維持でき，トゲが少なく，夏秋梢の発生も少なくなります。果実品質，樹冠容積当りの収量は他の台木と同等となります。

- ヒリュウ台木のレモンの樹冠容積は，カラタチ台木の約半分です。
- 果実品質は，ヒリュウ台木と慣行のカラタチ台木で差がありません。
- ヒリュウ台木のレモン樹は，1樹当たりの収量は少ないものの，樹冠容積当りの収量は，他の台木と同等です。



ヒリュウ台レモン（25年生 三原市）

表1 台木の違いがレモンの樹生育および果実形質に及ぼす影響

台木名	樹高 (m)	樹冠容積 ^{z)} (m ³)	新梢の節間長(cm)	トゲ発生 ^{y)} 節率(%)	収量 (kg/樹)	1果重 (g)	果径比 (縦/横)	果皮厚 (mm)	糖度 (° Brix)	酸度 (%)
ヒリュウ	2.2	7.0 a ^{x)}	1.4	6.8 a	14	127a ^{w)}	1.25	6.0	9.7	8.4
カラタチ	2.5	13.2 b	1.6	13.1 ab	25	113a	1.21	5.9	9.5	8.4
トロイヤールンジ ^{z)}	2.6	16.0 b	1.7	18.3 b	33	177b	1.24	6.8	8.0	7.6
F検定(p<0.05)	ns	*	ns	*	ns	*	ns	ns	ns	ns

z) 樹冠横径 × 樹冠縦径 × 高さ × 0.7で算出。

y) 1mm以上の長さのトゲについて調査。

x) 異なるアルファベット間で5%の危険率で有意差有り(Tukey法, n=3)。

w) 果実形質は，2007年12月25日に実施。

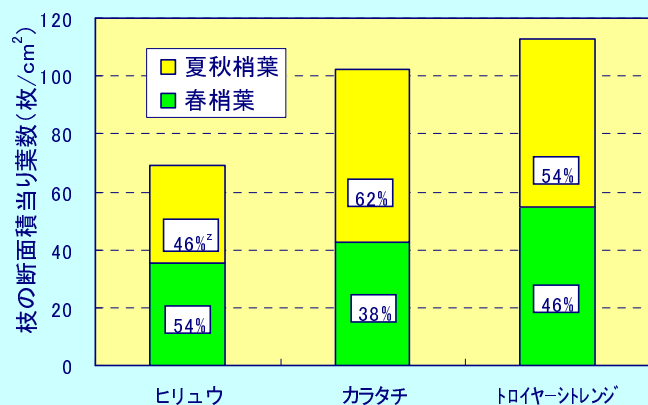


図1 台木の違いとレモンの時期別葉数

^{z)} グラフ内の数値は，それぞれの割合を示す。

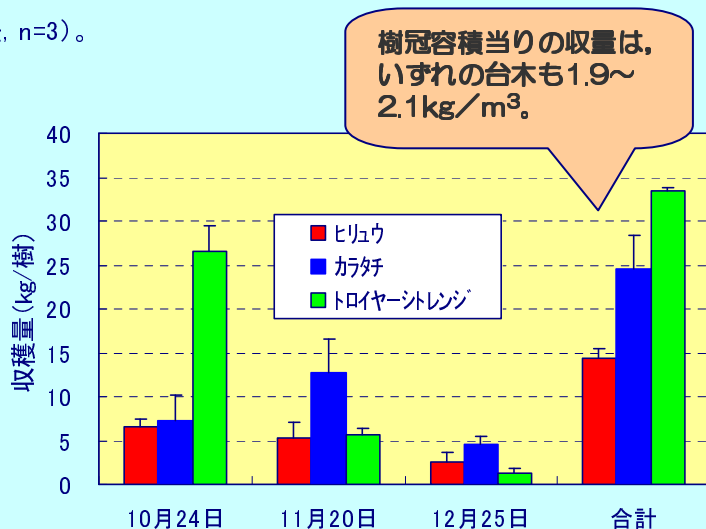


図2 台木の違いとレモン収穫量の推移

^{z)} グラフ内の縦線は，標準誤差を示す(n=3)。